

愛媛県地震被害想定調査の第

県は6月10日、南海トラフ巨大地震などが発生した場合の県独自の被害想定を公表しました。これによると、南海トラフ巨大地震が発生した場合、西条市では、最大震度7、最大津波高3.4メートルと推測されました。

今回公表した被害想定は、国の南海トラフ巨大地震による被害想定結果を踏まえ、阪神・淡路大震災を受けて平成13年度に実施した地震被害想定を見直したもので、西条市にも大きな影響を及ぼす「南海トラフ巨大地震」「芸予地震」「中央構造線断層帯の地震」について、最新の知見やデータをもとに、地震分布、液状化および土砂災害危険度、津波高等を推測したものです。

■南海トラフ巨大地震による震度分布・津波高（西条市）

項目		愛媛県 H25.6.10	中央防災会議 H24.8.29	愛媛県 H14.3
最大震度		震度7	震度7	震度6弱
最大津波高		3.4m	4m	—
津波到達 時間	海面変動±20cm	5分	不明	—
	津波高+1m	222分	不明	—
	最高津波高	461分	不明	—
浸水面積	1cm以上	※3,360ha	100ha	—
	30cm以上	3,145ha	100ha	—
	1m以上	2,649ha	90ha	—
	2m以上	1,741ha	70ha	—

※3,360ha…平成18年、西条市作成の「西条市津波浸水予測図」と同程度の浸水面積（3,330ha）

愛媛県津波

